

相談・支援活動のあらましと令和7年度実績

●青少年相談(小学生～20歳になる年齢)

○相談件数

	総数
面談	1225
電話	239
メール	11
合計	1,475

○学職別人数

	総数
小学生	24
中学生	54
高校生	44
その他学生	0
有職少年	2
無職少年	11
合計	135

相談件数は前年度より
175件増えました。ここ
10年で最も多い数とな
っています。また、面談

での相談が多く、悩みを直接聞いてほしい青少年が
多いことがわかります。特に中・高校生が増加傾向
にあります。相談内容は、不登校と学業相談が多く
なっています。中・高校生になると進路を含めた学
業不安が要因になることもあります。また、自傷行
為やオーバードーズに関する相談も増えています。

○相談内容別件数

	総数
不登校	405
学校・学業	495
就職・仕事	172
しつけ・生活	260
家庭	66
心の病	18
薬物乱用	1
交友	10
発達障がい	3
いじめ	2
家出	1
性	6
窃盗	8
虐待	2
喫煙	1
暴力行為	1
その他の相談	24
合計	1,475

●青少年支援(おおむね中学生～20歳になる年齢)

○支援件数 653回

支援種別	総数	支援内容一例
自分探し支援	230	面談・スポーツ・調理など
生活改善支援	226	通所・登校支援など
家庭支援	76	ふれあい活動・保護者面談など
就労支援	64	面談同行・履歴書作成など
就学支援	57	レポート支援・進路支援など
合計	653	

個に応じて5つのプログラムを組み合わせ支援
を行っています。前年度に比べて185回増の支援回
数となりました。

●若者相談(20歳～30歳代)

・相談人数 28人(20代:21人、30代:7人)

○相談者別件数

	総数
本人	191
家族	101
関係機関	24
その他	4
合計	320

前年度に比べて24件増
となりました。就労相談

の中には、数年ひきこもり状態だった方がIT勉強会
をきっかけに動きだされた事例もありました。

○相談内容別件数

	総数
ひきこもり	46
生活	186
就労	60
心の病	24
就学	0
その他	4
合計	320

高島市子ども若者相談課 少年センター(あすくる高島)

〒520-1521

高島市新旭町北畑45番地1

(子ども若者応援ベース内)

TEL:0740-25-8556

FAX:0740-25-8071

相談専用 TEL:0740-25-8555

相談時間 9:00～17:00(月曜日～金曜日)

★土日祝や時間外の面接相談を希望される方は、
事前にご連絡ください。



環境に配慮し、古紙配合率70%の再生紙及び植物油インキを使用しています

青少年の問題行動・非行・犯罪・被害の未然防止と子ども・若者に関する相談・支援についてのお知らせです

高
島
市

少年センター・あすくるだより

高島市新旭町北畑45番地1 TEL:0740-25-8556

危機管理意識を高くする学校経営

高島市小学校長会 会長 大江 大

市民の皆様におかれましては、日頃から市内学校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、今年3月に京都府南丹市で当時小学校5年生の児童が行方不明になった事件は、記憶に新しいことだと思います。私は、このような児童が巻き込まれる事件は、決して対岸の火事ではなく、いつどこで起こっても不思議ではないことだと認識するようにしています。そこで、今、学校として、できることは何かを考え、実行するようにしています。今回は、新学期前日に保護者の方々にメール配信をしました。その内容は、明日から始まる新学期において、「連絡が入っていないにもかかわらず、8時15分の段階で児童の姿が見当たらないという場合は、保護者の方に連絡させていただきます。」という配信です。もちろん、毎年開催している入学説明会において、「お子さんが、欠席される場合や遅刻される場合は、8時15分までに学校に連絡してください。」というような内容の説明をしています。しかし、このようなことを徹底するには、学校組織全員で情報共有を図り、意思統一する必要があります。児童が登校しているかどうかの確認は、学級担任が行います。児童の人数を確認し、連絡なく登校していない場合は、迷わず職員室にいるものに連絡することを徹底し、連絡を受けたものは、すぐに保護者の方に連絡をするという体制を整えることが必要です。このような対応をとることにより、組織全体として、危機管理意識を高くもつことの第一歩になると信じて、日々取り組んでいます。

もう一つ、私が職員の危機管理意識を高くするための手立てとして取り組んでいることは、職員会議や打合せにおいて、毎回、職員全員に対して、報告・連絡・相談を徹底することや日々生じる課題に対して、その原因や今後の対応について、全員で共有し、同じような課題が起こることを未然に防ぐことを目指しています。小さなことの積み重ねが大きなトラブルにつながるということを全教職員で共通理解することで組織として危機管理意識を高めていけるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。

児童にとって、危険なことはどこにでも潜んでおり、予想することは難しいのですが、児童の安心安全を確保することは、できる範囲でしていく必要はあると考えます。例えば、毎月実施している学校施設の安全点検では、本校では必ず複数の目で点検するようにしています。一人でしては気付かないことに気付いたり、時間を決めて実施することで、児童が学校の施設の不備だけがをしないように心がけたりしています。また、年間4回実施している避難訓練においても児童の動きだけでなく、教職員の動きや避難する際の基本事項を、低学年の児童を中心に繰り返し教えていくことを大切に取り組んでいます。

これからも危機管理意識を高くもち、児童の安心安全に向けて、組織全体で取り組んでいくことが大切だということを肝に銘じ、学校経営をしていきたいと思っています。

『みんなで考えよう! 賢く・便利に・安全に! スマホ・SNS について』

『こども家庭庁作成リーフレット』(こども家庭庁) <https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyou/leaflet> をもとに、高島市少年センターで作成

スマホ・携帯の普及で生活が便利になった反面、連日のようにスマホや SNS が原因となるトラブル・事件が報告されています。特に、写真等の使用による嫌がらせや性被害が増加中です。

小学校高学年 / 中学生 / 高校生の保護者の方へ

POINT

同意なく顔写真等を利用して
しまった時の相談窓口

LINEで相談できる!
LINEじんけん相談

こどもの人権110番
0120-007-110
(全国共通・無料)

もし性被害(撮影罪など)にあてしまったら、迷わず
下記相談窓口へご連絡ください。

性犯罪被害相談電話
ハートさん
#8103

小学校高学年 / 中学生 / 高校生の保護者の方へ

POINT

自画撮り被害を防ぐために

①スマホのOS機能を活用
たとえば、iPhoneではモードが含まれる可能性がある
写真をお子様を受信した場合や送信しようとした場合に
警告し、対応に役立つ情報を提示してくれる機能が
あります。

②民間サービスの活用
不適切な画像や動画の撮影をAIが検知し、警告を
出したり保護者等に知らせたりしてくれるサービス
もあります。

③家庭内のルールづくり
困ったことがあったら保護者に相談
することを約束しましょう。

④警察等への相談
自画撮りを要求されたらすぐ相談!
最寄りの警察署や相談窓口の利用も!

高島市少年補導委員会

高島市少年補導委員会は、高島警察署長ならびに高島市長から委嘱を受けた45人で構成されています。

令和8年度の各地区の少年補導委員のみなさんをご紹介します。(順不同・敬称略)

委員長:三 矢 繁 之			副委員長:伊 香 悦 子		
マキノ	出口 健	高木 亜矢	安曇川	島田 真壽美	横塚 守
	磯野 永一郎	谷口 豊子		青谷 一枝	饗庭 日実子
今津	古武 成人		新旭	駒井 正	伊香 悦子
				淵田 常博	安原 庄栄
高島	西川 忠昭	河原田 康代	朽木	西澤 幸夫	金田 初美
	井上 朋美	岩淵 かをる		上原 初美	平樂 康男
	杉嶋 郁夫	田谷 伸雄		清水 徹男	下司 小百合
	平島 久	角川 正将		武田 幸江	鈴木 範子
	藤原 芳美	橋本 智子		谷 仙一郎	上原 博子
	山本 浩司			多胡 みち子	日花 滋子
	三矢 繁之	小川 まち江		中川 亮子	清水 勉
	萬木 綱次	山田 恵美子		清水 昌子	
	田中 康彦	上田 洋行			

- 活 動 紹 介
- 【街頭補導活動】
- 統一街頭補導として、今津・安曇川の大型量販店や公園、駅を中心に毎月パトロールを行っています。
 - 地区(中学校区)ごとに計画を立て、子どもたちの登校時に朝の声かけをしたり、イベント等でパトロールをしたりしています。
 - 学校の長期休み(夏・冬・春休み)や歳末に特別パトロールを実施しています。
 - 不審者情報や凶悪事件発生情報による臨時パトロールを必要に応じて行います。
- 【啓発活動】
- 各種強調月間(7月・11月)に合わせて、大型店舗前で啓発を行っています。
 - 出前啓発活動として「おでかけ隊」による啓発教室や、寸劇やロール絵本による啓発を市内園・学校で行っています。(誘拐防止・薬物乱用防止・情報モラル等)



「薬物乱用防止教室」



おでかけ隊ロール絵本「うたこちゃん危機一髪」

【連携・交流】

- 市内小・中学校の学校行事や授業参観等に出向き、学校の先生や児童生徒との交流を図っています。
- あすくる高島に通所する少年との「ふれあい活動」を大切にしています。